

パロズ ステーション

PERO'S STATION



第86期 第2四半期のご報告 (2023年4月1日~2023年9月30日)



東映アニメーション株式会社

株主の皆さまへ

世界に冠たる 東映アニメーションブランドの 確立を目指す



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り心より御礼申し上げます。

「聖闘士星矢 The Beginning」評価損計上も 上半期売上高・営業利益予算を達成

第1四半期に、「聖闘士星矢 The Beginning」に関する棚卸資産の評価損を計上することとなり、ご心配をおかけしましたが、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の超ロングラン上映や「ワンピース」関連事業全般が好調に推移したことにより、売上高・営業利益ともに上半期予算を達成しました。

当社の海外ビジネスの今後について

グローバルアニメの市場規模は、約30.7兆円にも達し、当社には大きな成長余地が残されていると認識しています。

このような環境において、当社は一層の成長を遂げるべく、グローバルでの作品展開を加速させてマーケットシェアを拡大し、世界に冠たる東映アニメーションブランドの確立を目指します。

マーケットシェアの拡大を目指すにあたり、当社ならではの

の強みとして、日本最大のライブラリ作品群、人々を魅了する製作技術、海外ネットワークを有していることをお伝えしてきました。このようにアニメーション作品の製作から、二次利用に至るまでワンストップで行ってきたノウハウを活かし、グローバル市場においても一層のシェアを獲得できると確信しています。

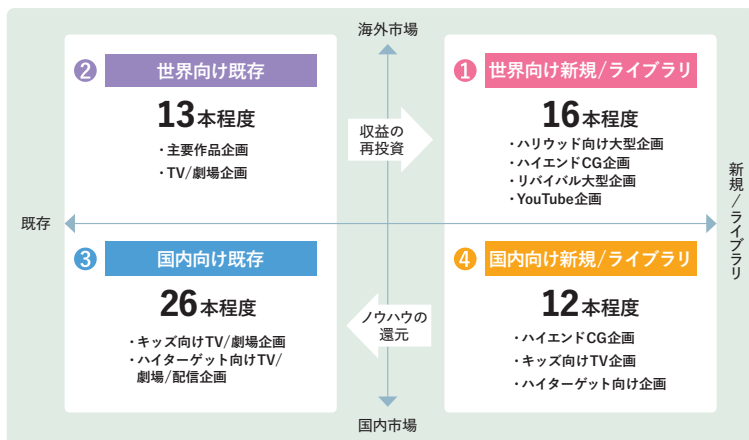
グローバルでの作品展開にあたっては、当社は引き続き、「輸出型モデル」、「ハリウッド型モデル」、「地産地消型モデル」という異なる特性を持ったビジネスモデルで海外戦略を推進していきます。

上半期には、海外戦略の三本柱の一つである「地産地消型モデル」作品のニュースリリースを複数発信しました。

中国においては、すでに配信の始まっている中国発のIP「Spicy Candy」を皮切りに、当社が1979年に製作したTVアニメ「花の子ルンルン」のリメイク作品「花仙子之魔法香対論(原題)」など、さまざまな企画が動き出しています。

また、欧州においては、フランスのアニメーションスタジオ「スタジオ・ラ・カセット」と手を組み、「Le Collège Noir(クレージュ・ノール(闇の学校))」という冒険譚を製作中です。

▶ IPポートフォリオ (2023～2026年度)



	見込み					
	2023年度		2024年度		2025年度	
	映画	シリーズ等	映画	シリーズ等	映画	シリーズ等
世界向け新規/ライブラリ	1本	5本	1本	4本	2本	2本
世界向け既存	4本	1本	0本	2本	1本	2本
国内向け既存	1本	5本	2本	7本	3本	4本
国内向け新規/ライブラリ	0本	5本	0本	3本	0本	2本

IPポートフォリオについて

本表は、当社の考えるIP戦略を4領域で表したものです。縦軸はIPのターゲット市場、そして今回から、横軸のIPの性質を、既存IPと新規およびライブラリIPに区分して表しました。

右上①の領域は、海外における新規およびライブラリIPです。「ハリウッド型モデル」作品第一弾である「聖闘士星矢 The Beginning」の劇場興行は芳しくない結果となりましたが、海外において新規IPを創出していくことは、東映アニメーションブランドの確立を目指すにあたり必要不可欠であり、引き続き注力領域の一つとして捉えています。

左上②の領域は、海外向けの既存IPです。「ワンピース」や「ドラゴンボール」シリーズ、「デジモン」シリーズなどが当てはまります。こちらの領域にあるIPは、すでに国内外で人気を博しており、二次利用の展開も広範に行っています。当社としては、こちらの領域の拡大により、さらに盤石な収益基盤の確立ができると考え、一層注力を行っていきます。

左下③の領域は、国内向けの既存作品です。今年20周年を迎えた「プリキュア」シリーズや、「おしりたんてい」、「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」など、キッズ向けIPの多くがこちらに該当します。経営理念にもあるように、当社は「世界の子どもたち

に『夢』と『希望』を与える“創発企業”となる。」ことを目指しており、こちらの領域への注力も欠かせません。

右下④の領域は、国内向け新規およびライブラリIPです。こちらの領域ではさまざまな新しい取り組みや新技術の活用などが活発に行われています。国内向けではあるものの、将来世界に羽ばたく作品が生まれる可能性を秘めているとも考えています。

左側の2つの領域で既存のファン層を活かして安定的にヒット作品を作り収益の柱とする、そして財務規律を順守しつつ、右側の2つの領域でこれまで培ってきた海外ビジネスのノウハウやネットワークを最大限活かし新たな市場を開拓していく基本方針は不変です。そこで得られる知見が、さらに全体の展開を活性化させ、良いサイクルを産み出すことを期待しています。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

高不勝裕

歴代「映画プリキュア」シリーズ最高興行収入・動員を記録！

「映画プリキュアオールスターズF」に込めた想い

Q1 オールスターならではのこだわりポイントや苦勞したポイントはどのようなところでしょうか？

今作では今までTVシリーズに登場した全プリキュア78人が登場します。70分という限られた時間の中で、すべてのシリーズのプリキュアに見せ場を入れることをあきらめずに提案し、実現できてよかったと思っています。その中で各作品の生みの親でもあるプロデューサーたちも巻き込みながら製作を進めたことはやはり大変でした。田中監督が「まるでほかの人の子どもを預かるような感覚」とおっしゃっていてすごく共感したのを覚えています。

また、今作は20周年記念映画ということもあり、子どもたちはもちろんのこと、子どものころ「プリキュア」を見てくれていたティーンや大人たちにも楽しんでらえるような要素を入れています。今作の製作スタッフは、「プリキュア」製作の経験者が多く、子どもに対する工夫や見どころづくりの経験が豊富な方たちでした。無意識にスタッフたちの目線が子ども向けになる中で、大人にもグッとくるような思い切ったアイデアや施策を提案するように心掛けていました。

Q2 「プリキュア」製作経験が豊富な村瀬プロデューサーですが、今後の「プリキュア」はどのように進んでいってほしいと考えていますか？

私は、「プリキュア」という作品を通じてたくさんの挑戦をさせてもらっていると感じています。プロデューサーとして、作品を作るにあたり、自分にしかできないことをするという考えを大切にしています。東映アニメーションオリジナルの作品であるからこそ、毎年「プリキュア」スタッフは、誰もが見たことのない作品を作るぞという意識で、作品づくりに向かっていると感じるので、その挑戦はいつまでも続いていってほしいと思います。

また、「プリキュア」という作品はどのシリーズにも、だれかの支えになることや、学びになることがあると思います。実は、私自身、

上京してホームシックになっていた際に、毎週日曜の朝に変わらず放送される「プリキュア」が支えになっていました。このような作品だからこそ、20年間ファンの皆さまに愛されていると思うので、この先は、よりもっともっと大きく注目される作品になって広がっていくことを願っています。

Q3 東映アニメーションに入社したきっかけや、プロデューサーとして作品を作るまでの経緯を教えてください。小さいころからアニメ作品が好きだったのでしょか？

「おジャ魔女どれみ」世代で、よくニチアサ枠※を見ていました。学生時代には、深夜アニメをむさぼり見る時期もありましたが、アニメから離れていた時期もありました。好きになる作品は、日常青春ものが多かったですね。 ※ アニメ、特撮番組が放映される日曜日朝の時間帯につけられた愛称。

Q4 入社4年目に「映画スター☆トゥインクルプリキュア 星のうたに想いをこめて」で初のプロデューサーをするまではどのようなお仕事をされていましたか？

入社後、企画部に配属され、「魔法つかいプリキュア！」の内藤プロデューサーのアシスタントとして、現場で勉強させていただきました。作品の終盤での配属でしたが、プロデューサーとしての業務を学びました。その後、次作の「キラキラ☆プリキュアアラモード」にて設定制作を担当させてもらい、期間限定で製作部に席をもらいました。



お子さまへの入場者プレゼントのミラクルライイトが、4年ぶりに復活



レイトショーでの応援上映も実施

限られた期間でしたが、貴重な経験をさせてもらいましたし、多くの学びがありました。製作の現場においてもらったことが今のプロデューサー業務にも役立っています。その後、内藤プロデューサーの作品に戻り、アシスタント業務を続けていました。

いつか私も0からプリキュアを立ち上げる時のことを考えて、アシスタントプロデューサーとして学んでいたところ、鷲尾第一映像企画部長(当時)に「映画スター☆トゥインクルプリキュア」の立ち上げの時期で声をかけていただきました。先輩方のサポートをいただきながらの初作品でしたが、当時は力の抜きどころがわからず、すべての業務に無我夢中で取り組んでいました。今作の田中裕太監督が当時の作品の監督でもあったのですが、「あのときより、大人になったよね」と言われるくらいでした。

Q5

今後はどのような作品づくりをしたいですか？

あまり先のことを考えるのが得意ではなくて…。今は、私にもサポートしてくれるアシスタントがいるので、アシスタント時代の私にプロデューサーの先輩方がしてくれたように、先輩方から学んだことを次世代へと伝えていきたいと思っています。

作品づくりは、どこまでいっても自分の好きなものを形にすることしかできないと思っているので、そのために「好きなものを増やし続けること」、それを「どうアニメで表現したいか」が大事だと思います。作品を通して皆さんと好きを共有するために、まずは私が自信をもっておすすめできる好きなものを見つけて、それを共有するアニメーションの形を模索していきたいです。

村瀬 亜季 (むらせ あき)

2016年に東映アニメーションに入社。設定制作やアシスタントプロデューサーとして「プリキュア」シリーズに参加し、映画「スター☆トゥインクルプリキュア 星のうたに想いをこめて」で初めてプロデューサーを務める。TVシリーズとしては「トロピカル〜ジュ!プリキュア」や、10月より放送中の「キボウノチカラ〜オトナプリキュア'23〜」のプロデューサーを務めている。



「映画プリキュアオールスターズF」



ストーリー

全プリキュア大集合!と思いきや、みんなバラバラに〜〜!? 『ここはどこ…?』——ソラが目を覚ますと、そこに広がっていたのは、ふしぎな世界…。 どうやらましろたちとはぐれちゃったみたい…。でも、そこでゆいとまなつ、プリムと出会ったの! たくさんのおともだちと出会ったけど、なぜかみんな記憶はあやふやで…。

しかも、この世界にいるのはプリキュアだけ…? もとの世界に戻りたい!!手がかりは遠く彼方に見えるお城——。 さあ!ここから旅のはじまり!お城を目指して大冒険ヘレッツゴー!

スタッフ

- 原作：東堂いづみ ● 監督：田中裕太 ● 脚本：田中 仁
- 音楽：深澤恵梨香
- 総作画監督・キャラクターデザイン：坂岡 錦
- 美術監督：林 竜太 ● 色彩設計：清田直美
- 撮影監督：大島由貴、高橋賢司
- 製作担当：吉田智哉、本田竜馬

キャスト

関根明良、加隈亜衣、村瀬 歩、七瀬彩夏、古賀 葵 ほか

公式サイト

<https://2023allstars-f.precure-movie.com/>

興行実績

国内興行収入14億円突破(映画「プリキュア」シリーズ過去最高)

決算のご報告

2023年4月1日～9月30日（第86期）

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

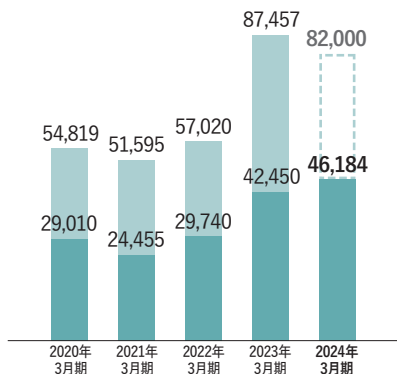
連結売上高

461億84百万円

前年同期比
8.8% ↑

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想

(百万円)



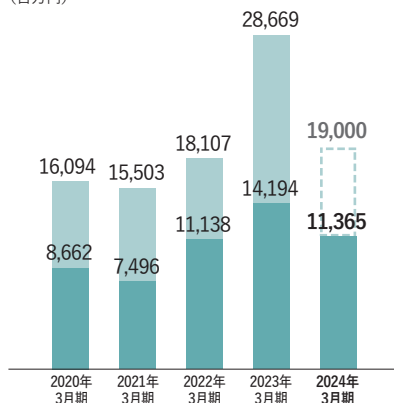
連結営業利益

113億65百万円

前年同期比
19.9% ↓

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想

(百万円)



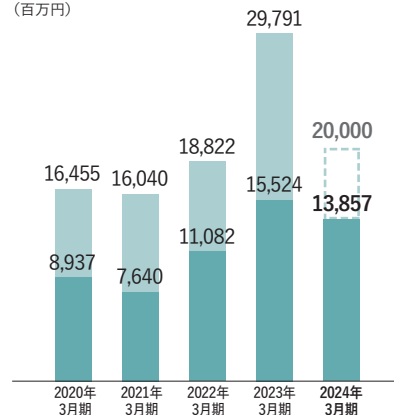
連結経常利益

138億57百万円

前年同期比
10.7% ↓

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想

(百万円)



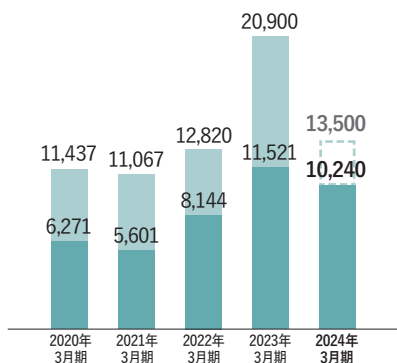
親会社株主に帰属する 連結四半期（当期）純利益

102億40百万円

前年同期比
11.1% ↓

■ 第2四半期 ■ 通期 □ 通期予想

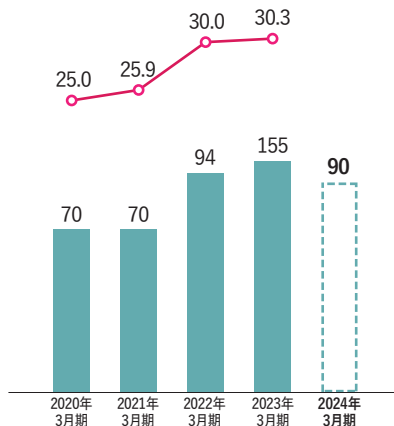
(百万円)



配当

■ 1株当たり配当金（円） □ 配当金予想（円）

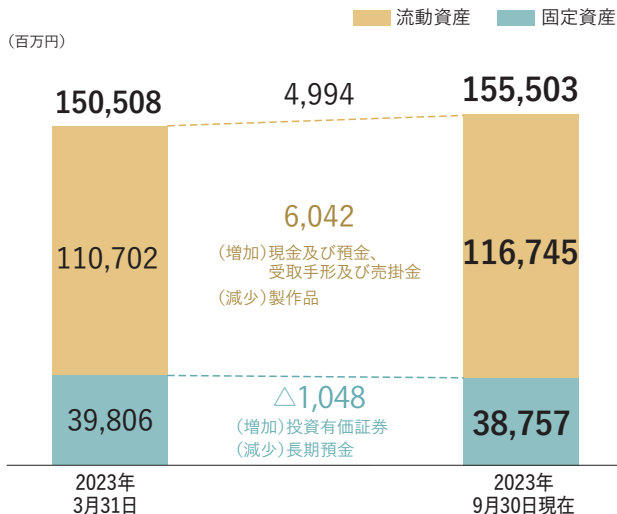
○ 配当性向（%）



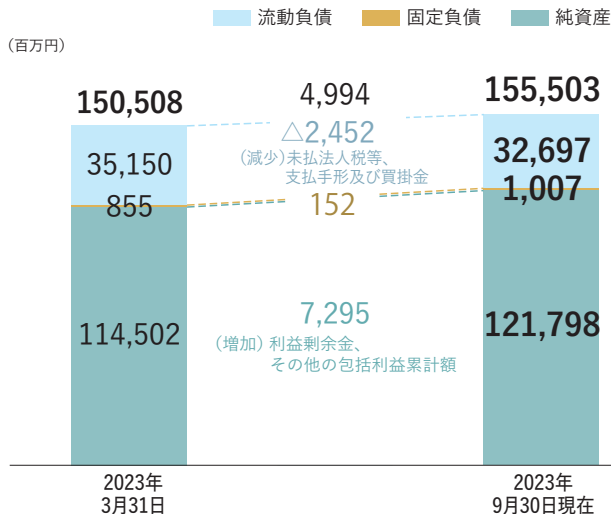
当社は、株主の皆さまに対する利益還元を重要な政策の一つとして考えており、財務の健全性、成長が期待されるビジネス機会への投資、株主さまへの利益還元のバランスを取りながら安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としています。内部留保金については、「IPを戦略の軸に据えたグローバル事業展開」をより一層強化し持続的成長と中長期的な企業価値向上に資するような事業機会やグローバル企画に積極的に投資します。

四半期連結貸借対照表

資産の部



負債・純資産の部



2024年3月期 第2四半期 概要

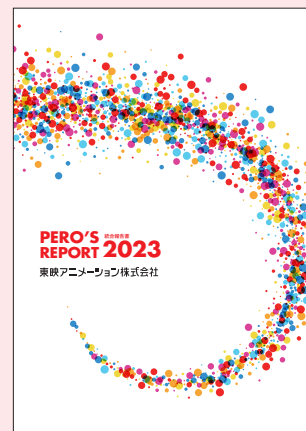
- 売上高は上期として過去最高。営業利益は大型劇場2作品を公開した前年に次ぐ過去2番目の水準
- 前年同期に公開した大型劇場3作品の大ヒットによる波及効果が継続、商品販売事業に加え、国内外における配信権販売や海外における上映権販売が業績を牽引
- 「聖闘士星矢 The Beginning」に関する評価損を計上するも、期初予想を上回る業績を達成

統合報告書「PERO'S REPORT 2023」発行!

統合報告書では、中長期的な戦略やESGの取組みなど非財務情報と財務情報を統合して、東映アニメーションの過去・現在・未来をご紹介します。

当社Webサイトの「IR情報」でご覧いただけます。

[Web https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir/library/PEROS_REPORT.html](https://corp.toei-anim.co.jp/ja/ir/library/PEROS_REPORT.html)



事業セグメントの状況

映像製作・販売事業

アニメーションの企画・製作、
各種メディア展開

Major Lineup

劇場アニメ

2023年 10月27日公開



「デジモンアドベンチャー02
THE BEGINNING」

2023年 11月17日公開



映画
「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」

テレビアニメ

2023年 7月～



「いきものさん」

2023年 10月～



「キボウノチカラ
～オトナブリキユア'23～」

コンテンツ



UHD、Blu-ray
初回生産限定「ONE PIECE FILM RED」
デラックス・リミテッド・エディション

海外映像



中国向けポスター
映画「THE FIRST SLAM DUNK」

その他

2023年 11月～



Netflixシリーズ
「悪魔くん」

売上高

191億12百万円

前年同期比

3.7%

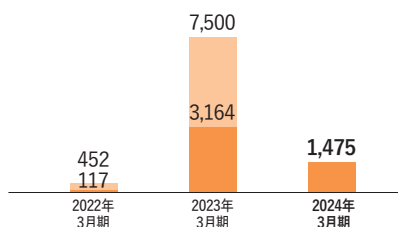
売上高構成比

41%

劇場アニメ部門

売上高 14億75百万円

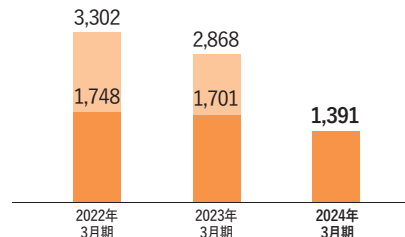
(百万円)



テレビアニメ部門

売上高 13億91百万円

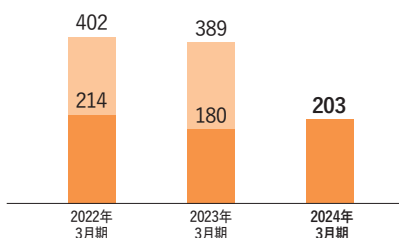
(百万円)



コンテンツ事業部門

売上高 2億03百万円

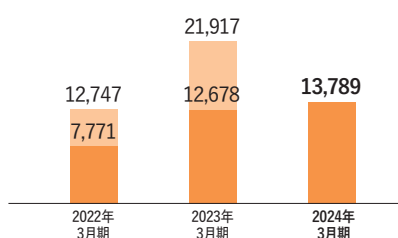
(百万円)



海外映像部門

売上高 137億89百万円

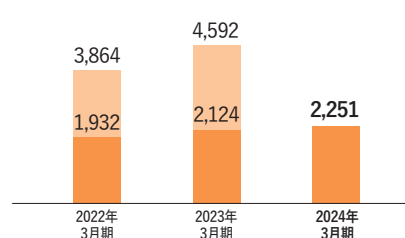
(百万円)



その他部門

売上高 22億51百万円

(百万円)



- **劇場アニメ部門**：前年同期に公開した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」、「ONE PIECE FIM RED」の反動により、大幅な減収となりました。
- **テレビアニメ部門**：前年同期と比較して放映作品数が減少したことなどから、大幅な減収となりました。
- **コンテンツ事業部門**：「ONE PIECE FILM RED」のブルーレイ・DVD発売により、大幅な増収となりました。
- **海外映像部門**：前年同期に好調に稼働した映画「ドラゴンボール超 スーパーヒーロー」の海外上映権販売の反動減があったものの、映画「THE FIRST SLAM DUNK」の海外上映権販売、「ワンピース」の海外配信権販売が好調だったことから、増収となりました。
- **その他部門**：「ONE PIECE FILM RED」をはじめとした、国内の映像配信権販売が好調に稼働したことから、増収となりました。

事業セグメントの状況

著作権事業

作品に登場するキャラクターを使用した商品制作の許諾

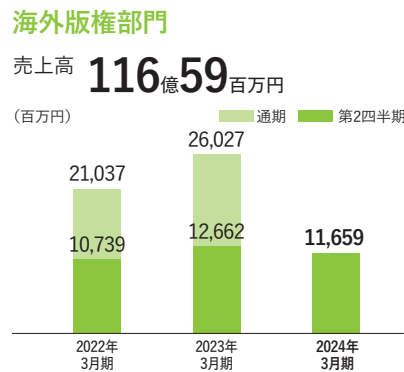
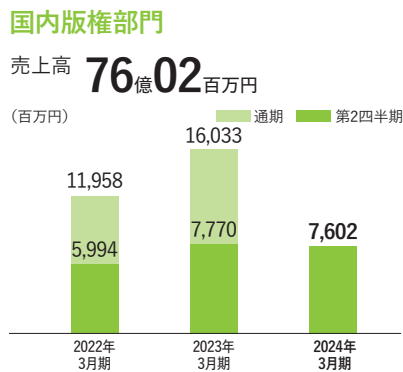
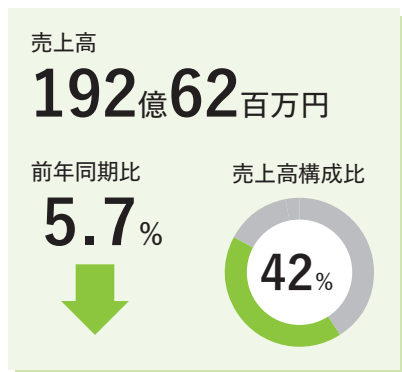


国内展開商品 TVアニメ「ONE PIECE」、「ドラゴンボール」シリーズ

Major Lineup



海外展開商品 TVアニメ「ONE PIECE」、「聖闘士星矢」シリーズ、「デジモン」シリーズ、「ドラゴンボール」シリーズ



- **国内著作権部門**：「ワンピース」のゲーム化権販売が好調に稼働したものの、「ドラゴンボール」シリーズのゲーム化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことなどから、若干の減収となりました。
- **海外著作権部門**：「ワンピース」の商品化権販売が好調に稼働したものの、「デジモン」シリーズ、「ドラゴンボール」シリーズの商品化権販売が前年同期の勢いには至らなかったことなどから、減収となりました。

商品販売事業

自社商品の開発・販売やショップ展開

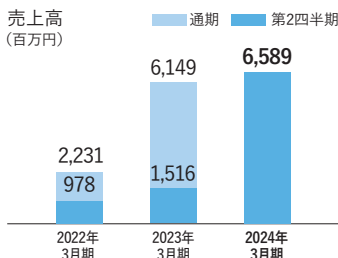
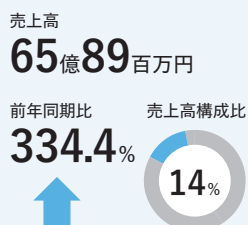
Major Lineup



『ONE PIECE 麦わらストア』渋谷本店



『プリキュア プリティストア』大阪本店



- 映画「THE FIRST SLAM DUNK」の商品販売、「ワンピース」のショップ事業が好調に稼働したことなどから、大幅な増収となりました。

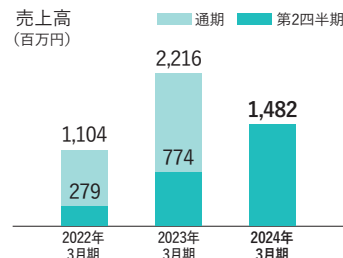
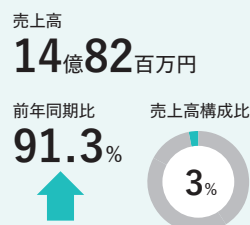
その他事業

キャラクターを使用したイベントの企画・運営

Major Lineup



『ワンピース・オン・アイス』

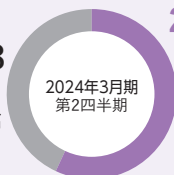


- 催事イベントやキャラクターショーなどを展開しました。「プリキュア」シリーズの催事が好調に稼働したことなどから、大幅な増収となりました。

海外での事業展開

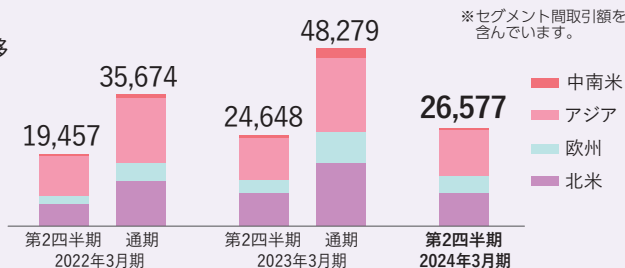
国内・海外
売上高構成比
(百万円)

19,868
(43%)
国内売上高



海外売上高
26,577
(57%)

海外地域別
売上高※推移
(百万円)





2023年度実施

株主さまアンケート結果のご報告

2023年7月に実施しました株主さまアンケートに、数多くのご回答をお寄せいただき誠にありがとうございました。ご返信をいただきました1,700名を超える株主さまの中から厳正なる抽選を行い、500名の皆さまに「ひろがるスカイ!プリキュア」、「ワンピース」のクリアファイルセットを送付しました。今回もアンケート結果のご報告として、皆さまより頂戴したご意見の一部と担当者からのコメントを紹介します。

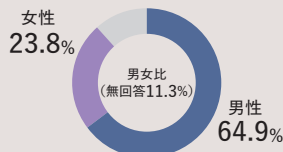
アンケート回収状況

回答数 **2,090名**
株主数 **8,596名**※
※2023年3月末時点

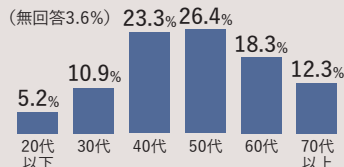
回収率

24.3%

ご回答者の属性



年代別



当社の株主優待 (キャラクターQUOカード)について



「プリキュア」が描きおろしでうれしいから。(30代男性)

人気のキャラクターがカードになっているため。絵の画角が最高だったから。(40代女性)

キャラクターQUOカードがほしくて株主になったので満足です。(50代女性)

アニメがかわいくて良い。(40代女性)

オリジナルのデザイン。(50代男性)

毎回4種あることと、デザインがステキなこと。(40代女性)

新作アニメ2作品はどちらも子どもが好きで見ているので大満足です。(40代男性)

新旧揃って懐かしいし、かわいいと思います。(50代女性)

「プリキュア」の描きおろしが良い。(40代男性)

懐かしいアニメと新しいアニメの構成が良いです。(50代男性)

「タイガーマスク」世代で懐かしい。新旧あって楽しめる。使いたくない。(60代男性)

子どものお小遣いに1枚ずつ渡しています。(40代女性)

娘が「プリキュア」好きで、特に今回の「ひろがるスカイ!プリキュア」が一番好きと喜んでいたので。(40代男性)

現在放映しているアニメと過去に放映していたアニメの2種類が絵柄になっているところが良い(昔を思い返す)。(50代男性)

担当者より アンケートご協力をお願い 締切日: 2023年12月8日(金)

株主の皆さまとより良い関係を築き上げていくために、本誌郵送時に同封のアンケートにご協力をお願いします。ご回答いただきました方の中から抽選で**300名**様に「ワンピース」2024年カレンダーを進呈します。年内発送に間に合わせるため応募期間が短くなっていますので、ご注意ください。当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。ご協力をどうぞよろしくお願いします。



皆さまからのご意見・ご質問

Q オンラインイベントでメタバース事例を知り、オタク部屋と昔のスタジオを見学しました。謎解きは楽しかったですし、撮影台がどのように使われるのか興味をもちました。今後もさまざまなコンテンツが増えるといいなと思いました。(30代男性)

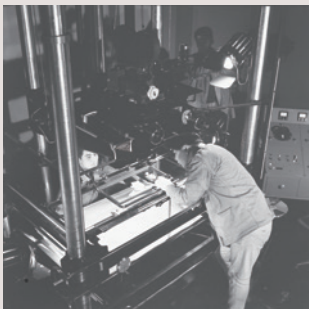
A 株主さま限定オンラインイベントで紹介した「ONN'ON studios」を体験いただきありがとうございました。

2023年6月には第3弾となる「ImaginaryPark2070(イマジナリーパーク2070)」を公開しました。新ワールドで、東映動画スタジオが立つ「1956年の大泉学園エリア」、「銀河鉄道999」の999号やキャラクターたちが潜んでいる「1999年の秋葉原エリア」のほか、野口光一氏が担当する「正解するカド」のカドが出現する「2017年の羽田空港エリア」、「樂園追放」のアーハンが登場する「近未来の渋谷エリア」など、異なる4つの世界を集約させたマルチバースなテーマパーク空間で構成されています。

新ワールドでは、「ONN'ON studios」の公式キャラクターの「メモリ(CV: 森倉もも)」、「えん(CV: 山根綺)」を用いたVR空間内AIコンシェルジュが登場し、ソニーのキャラクター対話AI技術によって、キャラクターと自由に会話を楽しめます。ぜひ、新たなワールドを訪れてみてください。

なお、撮影台はセル画や背景画、その他の撮影素材をカメラで撮影するための装置です。複数のセル画や背景画を異なる距離に配置することで、空気遠近法に似た奥行きのある画面を創り出すことができます。

1959年に東映アニメーションが開発したマルチプレーン撮影台は、複数のセル画や背景画を同時に撮影できる装置として、多くのアニメ作品で使用されました。現在、アニメ制作ではデジタル化が進み、コンピューター上で撮影を行うことが一般的になっています。



Q YouTubeの動画無料配信は良い取組みだと思います。(60代男性)

A 「東映アニメーションミュージアムチャンネル」をご覧ください。ありがとうございます。当チャンネルは、当社の創立60周年を記念して2016年に開設した公式YouTubeチャンネルです。新旧さまざまなアニメの期間限定公開など、幅広い年代の皆さまに楽しんでいただいています。2023年10月時点では、登録者数112万人、総閲覧回数33億回の人気チャンネルです。公式X(旧Twitter)で告知を発信しています。そのほかにも、Amazonプライム・ビデオの見放題サービス「東映アニメチャンネル」にて、6,000以上の人気アニメを配信中です。ぜひご覧ください。

Q それぞれの時代で「定番」となるような大きな作品づくりを期待。応援しています。(50代男性)

A いつも応援ありがとうございます。当社は「世界の子どもたちに『夢』と『希望』を与える“創発企業”となる。」という企業理念のもと、幅広い世代の皆さまに愛される作品づくりを目指しています。最近では、配信プラットフォームの発達もあり、これまで以上に当社作品が海を超え、多くの皆さまに楽しんでいただく機会が増えています。

こうした環境の中、これまで培ってきたノウハウを活かし、日本のみならず、海外でも「定番」となる作品創出に力を入れています。2023年に入り、当社内で「地産地消型モデル」※と位置づけている作品の情報解禁も始まっています。ぜひご期待ください。

※ 海外の現地パートナーと、現地のニーズに合った企画を進めるビジネスモデル

中国との協業作品



「Spicy Candy」

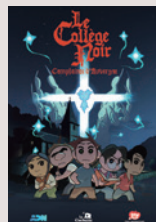


「花仙子之魔法香対論(原題)」



「MOGMOG PLANET」

フランスとの協業作品



「Le Collège Noir(原題)」

株主優待のご案内

権利確定日:3月末日



描きおろし

「ひろがるスカイ！プリキュア」
毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中

「逃走中
グレートミッション」
毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて
放映中

2023年3月期
贈呈の
QUOカード



「タイガーマスク」
1969年10月2日～
1971年9月30日
放映



「これがUFOだ！空飛ぶ円盤」
1975年3月21日公開作品

株主優待オリジナルの 「キャラクター QUOカード」を進呈

株主優待限定の描きおろしデザインを含む、
人気の新作アニメ2枚、懐かしの名作アニメ
2枚の計4枚が1セットです。

贈呈基準

所有株式数	優待内容
100株以上	1セット (1,200円相当)
300株以上	2セット (2,400円相当)
500株以上	3セット (3,600円相当)
1,000株以上	5セット (6,000円相当)
3,000株以上	8セット (9,600円相当)
5,000株以上	10セット (12,000円相当)
10,000株以上	12セット (14,400円相当)

トピックス

株主さま限定オンラインイベントを開催します！



日時^{*1}: 2024年3月中旬

内容^{*2}: ①当社プロデューサーインタビュー
②事業紹介
③東映動画歴史紹介

対象: 2023年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主さま
問い合わせ先^{*3}: ir-mail@toei-anim.co.jp
視聴方法・配信開始時期などの詳細は、2月上旬に
案内状を郵送予定です。

^{*1} 配信日から1ヵ月ほどアーカイブ配信する予定です。

^{*2} 当日の配信内容に変更がある場合がございます。ご了承くださいませよう、お願いします。

^{*3} 在宅勤務を併用しているため電話での対応ができません。何卒ご理解いただけますようお願いいたします。

会社情報 (2023年9月30日現在)

商号	東映アニメーション株式会社
英文社名	TOEI ANIMATION CO., LTD.
本社	〒164-0001 東京都中野区中野四丁目10番1号 中野セントラルパーク イースト5階 TEL 03-5318-0678(代表)
従業員数	連結 :903名 単体 :627名
上場市場	東証スタンダード(コード:4816)
ホームページ	https://corp.toei-anim.co.jp

株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催します。
基準日	毎年3月31日 其他必要がある場合は、あらかじめ公告します。
剰余金の配当	毎年3月31日現在の株主または登録株式質権者にお支払いします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	TEL:0120-232-711(通話料無料) (受付時間:土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
公告方法	電子公告 https://corp.toei-anim.co.jp

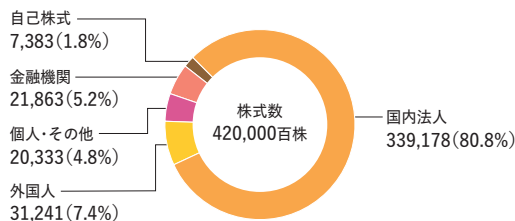
株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行済み株式総数	42,000,000株
株主数	7,569名

大株主(上位10社およびその状況)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
東映株式会社	141,000	33.6
株式会社テレビ朝日	82,509	19.6
株式会社バンダイナムコホールディングス	45,372	10.8
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	34,300	8.2
JP MORGAN CHASE BANK 380815	20,200	4.8
東映ビデオ株式会社	13,647	3.2
東映ラボ・テック株式会社	10,500	2.5
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 フジテレビジョン口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	8,000	1.9
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 ソニー株003口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	7,800	1.9
株式会社ソニー・ピクチャーズエンタテインメント	7,800	1.9

所有者別株式分布状況 (単位:百株)



お知らせ

■住所変更、単元未満株式の買取などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

■「配当金計算書」について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

第86期
下期

注目の10作品



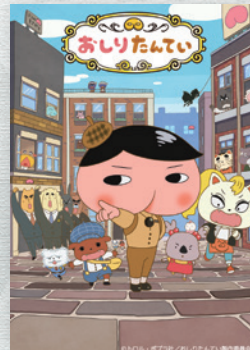
「ひろがるスカイ!プリキュア」
毎週日曜日 朝8:30～
ABCテレビ・テレビ朝日系列にて放映中



「逃走中 グレートミッション」
毎週日曜日 朝9:00～
フジテレビほかにて放映中



「ワンピース」
毎週日曜日 朝9:30～
フジテレビほかにて放映中



「おしりたんてい」
毎週土曜日 朝9:00～
NHK Eテレビにて放映中



「キボウノチカラ
～オトナプリキュア'23～」
毎週土曜日 午後6:25～
NHK Eテレビにて放映中



「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」
毎週金曜日 午後6:40～
NHK Eテレビにて放映中



「悪魔くん」
Netflixにて全世界独占配信



「映画プリキュアオールスターズF」
2023年9月15日公開

©水木プロ・東映アニメーション, ©映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」製作委員会, ©ABC-A・東映アニメーション, ©フジテレビ・東映アニメーション, ©尾田栄一郎・集英社・フジテレビ・東映アニメーション, ©トロール・ポプラ社/おしりたんてい製作委員会, ©2023 キボウノチカラ オトナプリキュア製作委員会, ©廣嶋玲子・jyajya / 信成社/ 銭天堂製作委員会, ©2023 映画プリキュアオールスターズF製作委員会 ©ABC-A・東映アニメーション, ©本郷あきよし・東映アニメーション・東映, ©和田淳・ニューディアー/東映アニメーション, ©尾田栄一郎/2022「ワンピース」製作委員会, ©I.T.PLANNING, INC. ©2022 THE FIRST SLAM DUNK Film Partners, ©尾田栄一郎/集英社 ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション, ©バードスタジオ/集英社・東映アニメーション, ©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション「ワンピース・オン・アイス」2023製作委員会, ©Spicy Candy Project Committee, ©TAE-TAES-Tencent-Wawayu All Rights Reserved., ©MOGMOG PLANET COMMITTEE, ©2023 Studio La Cchette-ADN-Toei Animation Co., Ltd., ©髭原一騎・辻なおき/講談社・東映アニメーション, ©東映

免責事項
この報告書に記載しております当社および当社グループの計画や見通しにつきましては、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、今後さまざまな要因の変化により異なる結果となることがあります。

本誌は、環境に配慮した森林認証紙および植物油インキを使用しています。



「デジモンアドベンチャー 02 THE BEGINNING」
2023年10月27日公開



映画「鬼太郎誕生 ゲゲゲの謎」
2023年11月17日公開